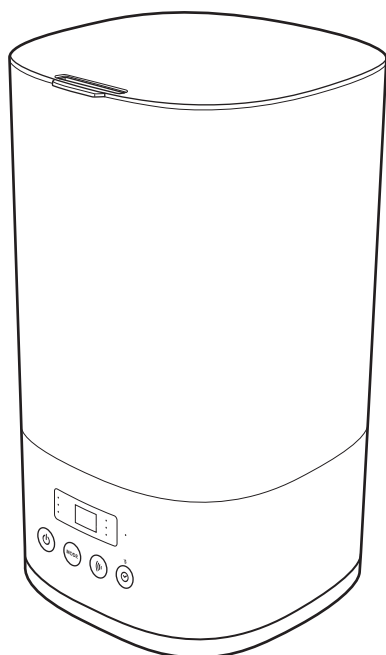


# DOSHISHA

## カンタン給水 超音波式加湿器 Korobaan KWX-304

### 取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

#### も く じ

安全上のご注意	P. 1~2
各部の名称とはたらき	P. 3~4
使用前の準備	P. 5~6
正しい使いかた	P. 7~10
お手入れと保存	P. 11~12
修理・サービスを依頼する前に	P. 13
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



### 仕 様

型 名	KWX-304
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	18W
加湿方式	超音波式
加湿性能	1時間あたり《強》:約300ml、《中》:約200ml、《弱》:約100ml
連続加湿時間	約6.5時間（《強》運転時）
水タンク容量	約2L
電源コード長さ	約1.8m
外形寸法	約幅16.3×奥行16.5×高さ28.5cm
質 量	約1.5kg
付 属 品	取扱説明書・保証書×1、水フィルター×1（本体に取付済）、フェルト×4（1枚は本体に取付済）、吸気口フィルター×1（本体アロマケースに取付済）、掃除用ブラシ×1（本体フタに取付済）



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 安全上のご注意









- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




## 図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

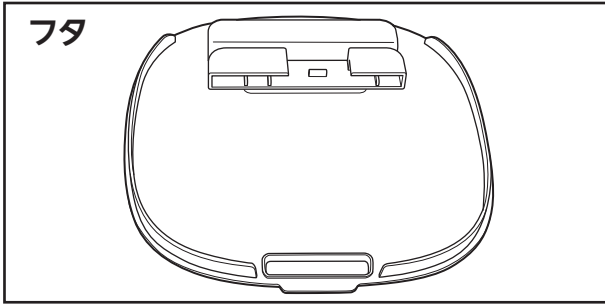
# 警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。"	指示	内部に磁石が内蔵されているので、扱いには十分注意する。 ペースメーカーなど使用されている人は使用を控えてください。磁気に弱いもの(磁気カードなど)の近くに置いたりしないでください。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	プラグを抜く	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		

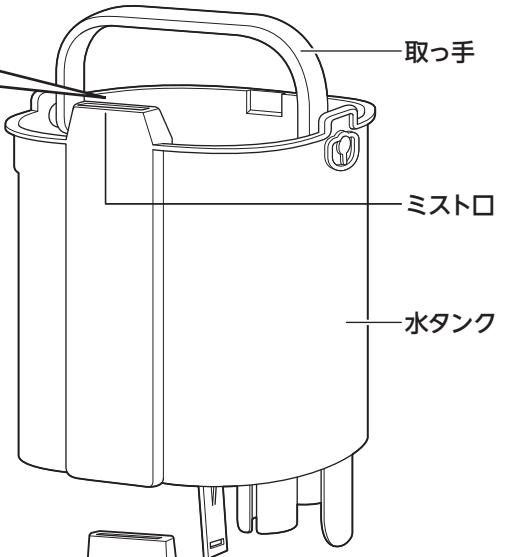
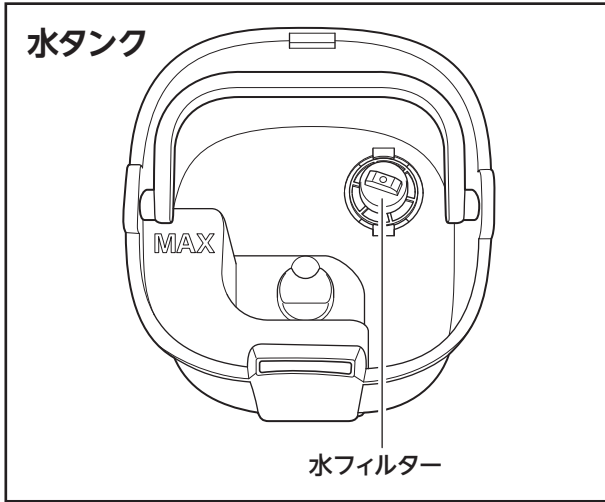
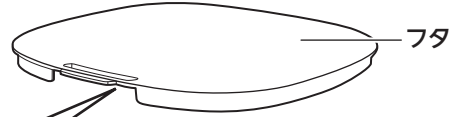
# ⚠ 注意

 禁止	湿度の高いところ(85%以上)では使用しない。 室内を濡らしたり、故障の原因になります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	
	ミストが直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。 本体を壁、家具、カーテン、寝具などから50cm以上離してご使用ください。		本製品の近くに携帯電話やパソコンなどを置かない。 加湿器の運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器等は加湿器の近くに置かないでください。 水道水に含まれるミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)がミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。人体には無害ですが精密機器、電子機器などの故障の原因になりますので、ホコリや汚れに弱い機器のあるところでは使用しないでください。	
	犬やネコなどのペットのためには使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になります。		本体を傾けない。 水タンクに水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる原因になります。	
	傾いた場所や棚などの高い場所、不安定な場所には置かない。 転倒すると、本体の破損・やけど・けがの原因になります。		 指示	電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。
	ミスト口に指を入れない。 けがの原因になります。			本製品を使用しないときは、水を捨てる。 使用しない水をそのままにしておくと、カビや雑菌が繁殖し異臭の原因になります。 使用しないときは、水タンクと水槽の水を捨ててください。
	ミスト口をふさがない。 変形・故障の原因になります。	水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。 本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。		
	水道水以外は使用しない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなり、水アカが多くなったりして、異臭の原因になります。	本体の水を捨てるときは、排水方向の矢印方向から捨てる。 他の方向から水を捨てる、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。		
	お湯は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形・誤動作の原因になります。	凍結に注意する。 凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てる。		
	アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対に入れない。 本体の破損・故障の原因になります。	本製品はテレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。 雑音の原因になります。		
	次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウムは絶対に入れない。 本体の破損、故障の原因になります。人体に害を及ぼすことがあります。			
本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に直接置いて使用しない。 吸気口がふさがり、故障・水漏れの原因になります。				

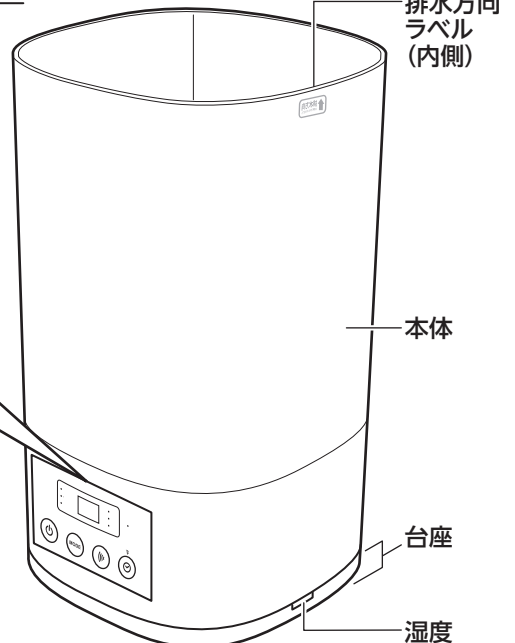
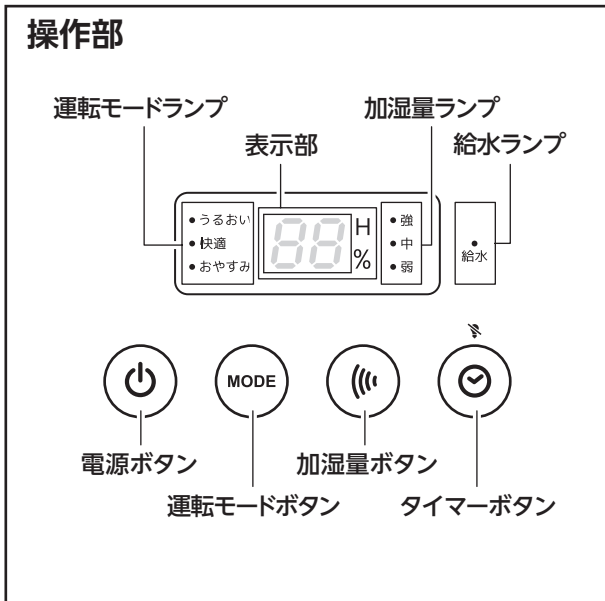
# 各部の名称とはたらき



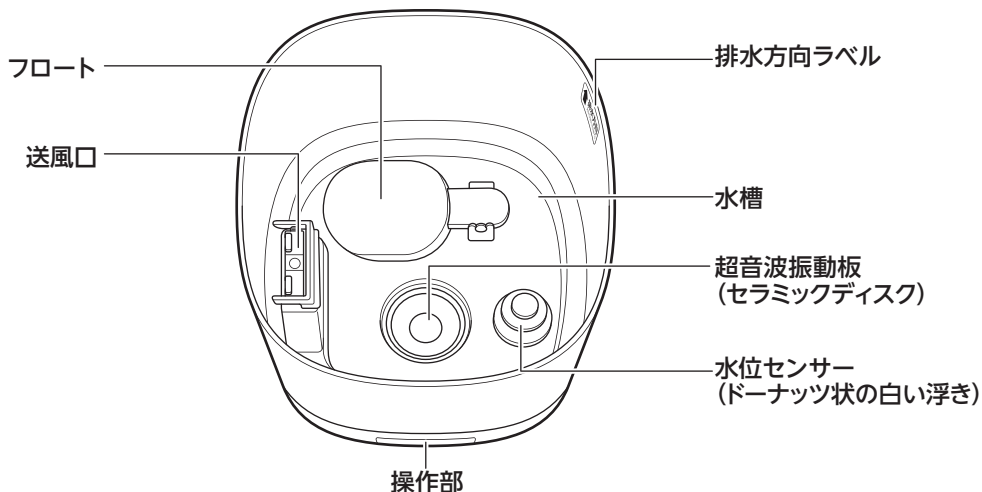
前面



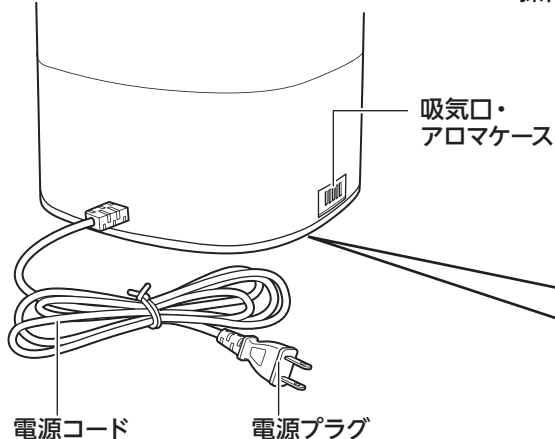
水タンクとミスト筒は正しく取り付ける必要があります (5ページ参照)。



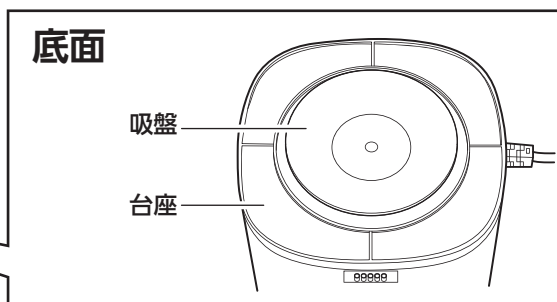
## 本体内部



## 背面

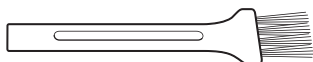


## 底面

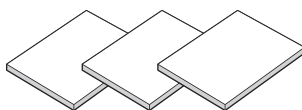


**警告** 電源コードを束ねたまま使用しない。  
電源コードの発熱・発火の原因になります。

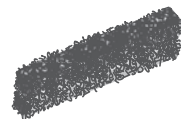
## 付属品



掃除用ブラシ×1  
《カバーのウラに取付済》  
※お手入れのときに使用します  
(11ページ)



交換用フェルト×4  
《1枚は本体アロマケースに取付済》  
(10ページ)



吸気口フィルター×1  
《本体アロマケースに取付済》

## 注意

- 本体の水がたまる部分にある水位センサー（ドーナツ状の白い浮き）が上下に動くことを確認する。貼りついた状態では給水ランプが誤点灯することがあります。
- 給水、排水するときや掃除をするときは送風口や各種ボタンに水が入らないようにする。故障の原因になります。
- アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。本体の破損・故障の原因になります。
- 本体を移動させるときは、先に水タンクをはずし、本体の水を捨てる。水タンクおよび本体の水がこぼれる原因になります。
- 本体の水を捨てるときは、排水方向から捨てる。他の方向から水を捨てる、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

# 使用前の準備

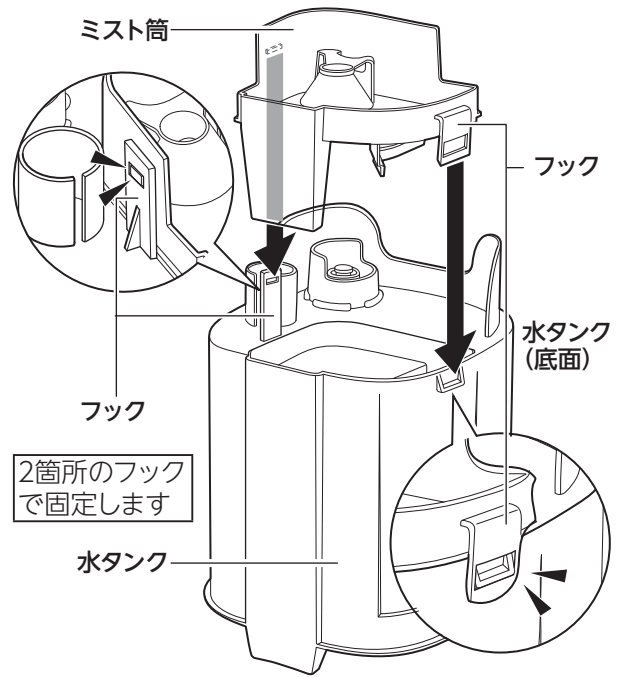
## 1. 本体を水平な場所に設置する

設置前に本体底面の吸盤に汚れがないか確認してください(汚れがあった場合のお手入れ・倒れにくい構造の取り扱いについては、9ページ参照)。

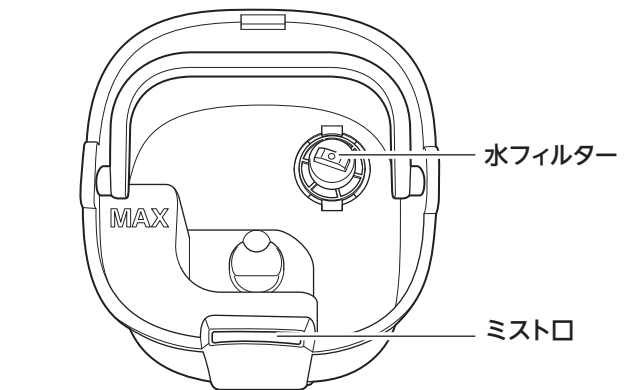
## 2. 水タンクにミスト筒が正しく取り付けられていることを確認する

はずれていた場合は、取り付けてください。

※初めて使用するとき、長期使用していなかったときや、輸送した場合など、はずれることがありますので、必ず確認してください。



**注意** ミスト筒を取り付けずに運転すると水漏れします。



## 3. 水タンクに水フィルターが取り付けられていることを確認する

水フィルターが水タンク底面にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

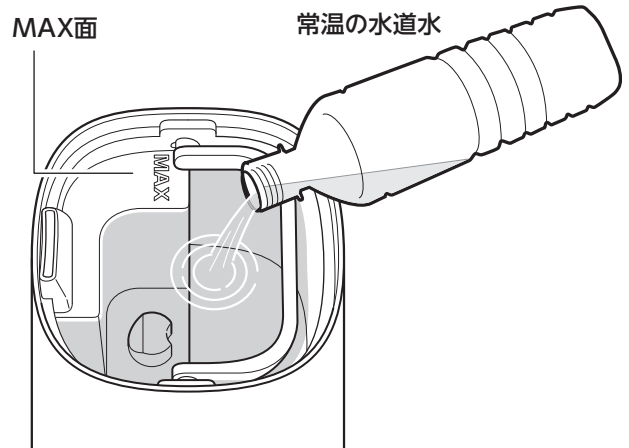
## 4. 給水する

**本体に水タンクを取り付けて給水する場合《上部給水》**

水タンクを本体から取り出すことなく、フタをはずして、そのまま給水することができます。水タンクに直接、きれいな常温の水道水を、MAX面を超えないように入れてください。



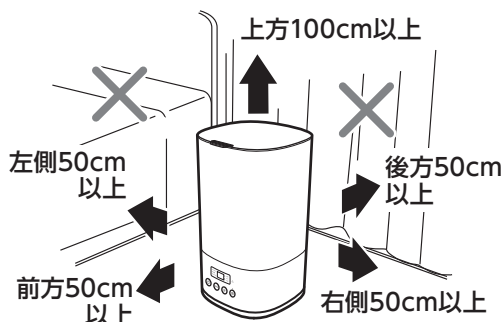
**注意** 水道水以外の水は使用しない。



## 本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。

本製品の設置は以下の点に注意してください。

- ミスト口を壁、寝具、カーテン、家具に向けないでください。
- じゅうたんなど毛足の長い布の上には置かないでください。吸気口がふさがり、本体の故障、周囲への水漏れの原因になります。
- 本製品を使用すると、水道水に含まれるミネラル分などがミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。近くに置いた家具や電子機器などに付着し、白い汚れになったり、機器の機能に悪影響を与えてしまいますので、設置場所には十分注意してください。
- 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。



### ⚠️ 注意

テレビ、ラジオなどから2m以上離して設置する。  
雑音の原因になります。

## 水タンクに直接水を入れる場合《水タンク給水》

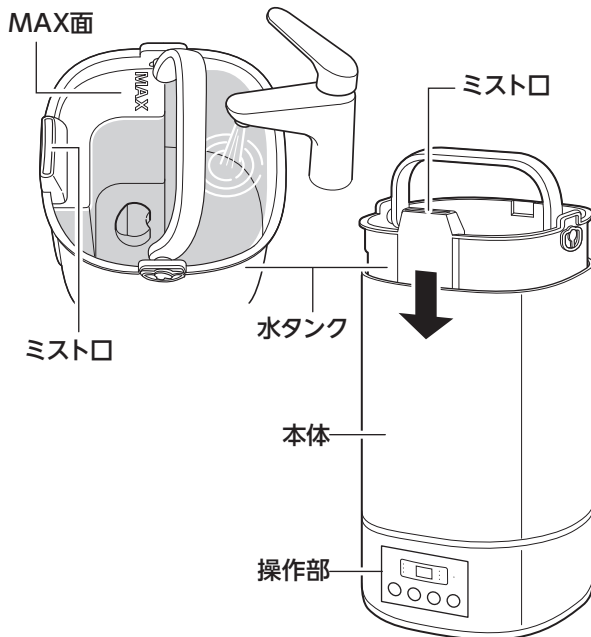
本体から水タンクを取り出して給水することもできます。

1. 水タンクに直接、きれいな常温の水道水をMAX面を超えないように入れます。



水道水以外の水は使用しない。

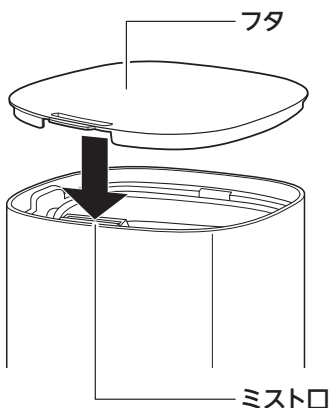
2. 水タンクを本体に取り付けます。  
取り付ける向きは、水タンクのみスト口側を本体の操作部側にします。



## 5. フタを取り付ける

## 6. 電源プラグをコンセントに差し込む

水タンクに水がない場合や、水が本体内に行き渡っていない状態で、電源プラグをコンセントに差し込むと、ブザーが5回鳴り、給水ランプが赤色で点灯します。水槽に水が行きわたると、給水ランプが消灯します。



フタの穴をミスト口に合わせて、フタに浮きがないように取り付けてください。



- 電源コードを本体の下に通さない。  
火災・事故・感電の原因になります。
- 水タンクが確実に取り付けられていないと、動作しません。



- 電源コードを束ねたまま使用しない。  
電源コードの発熱・発火の原因になります。
- 外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。  
事故・火災の原因になります。

# 正しい使いかた

## 運転の開始／停止

### 1. ①電源ボタンを押して運転を開始する

①電源ボタンを押すと電源が入り、表示部に湿度が表示されます。

- 続いて、加湿量ランプの「強」が点灯し、「強」モードで運転を開始します（マニュアル運転モード）。

運転方法により以下をご覧ください。

- 「**マニュアル運転モード**」加湿量を手動で調節して運転する場合（手順2以降）
- 「**自動運転モード**」設定された湿度に自動で調節して運転する場合（8ページ）

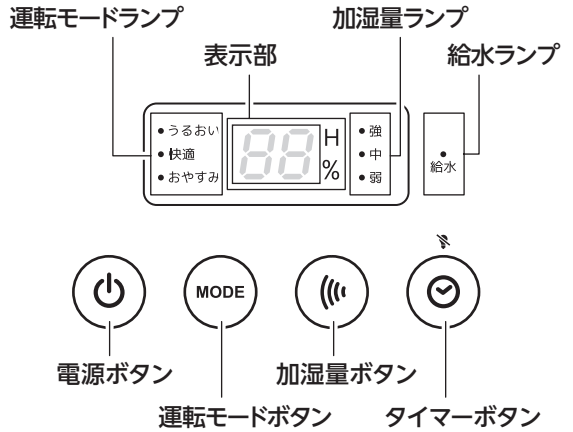
### 2. ②加湿量ボタンを押して、加湿を設定する《マニュアル運転モード》

②加湿量ボタンを押すたびに、「強」「中」「弱」の順に切り替わります。

お好みの加湿量に調節してください。

- 運転モード設定後は、③タイマーボタンを押して切タイマーを設定することができます。

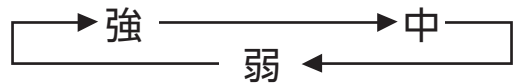
## 操作部



※本機の湿度表示は、本機内部に湿度センサーを取り付けていますので、本機内部の湿度を表示しており、お部屋などの別の湿度計と表示値が異なることがあります。

## マニュアル運転モードの設定

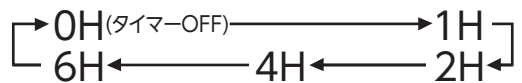
②加湿量ボタンを押すたびに下のよう切り替わります。



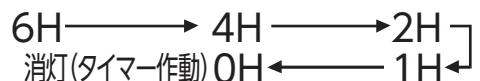
加湿量の設定	加湿量 (1時間あたり)
「強」	約 300 ml/h
「中」	約 200 ml/h
「弱」	約 100 ml/h

## 切タイマー機能の設定:

③タイマーボタンを押すごとに次のように切り替わります。



切タイマー設定後、表示部はタイマーがはたらくまでの時間と周囲の湿度を交互に表示します。時間の経過とともに、切タイマーがはたらくまでの時間の表示が変化します。



## ⚠注意

冬場に就寝する際、暖房器具を止めてしまうと室温が徐々に低下、空気が保水できる量が下がってくるため、加湿器のミストが空气中に拡散されにくくなります。

拡散されないミストは粒のまま自重で落ちて霧雨が降ったように床がしっとりと濡れます。長時間続くと水漏れしたように水溜りとなることがあります。

冬場の就寝時には、自動運転モードの「おやすみ」、またはマニュアル運転モードの「微弱」にするか、状況によっては使用を停止してください。また、タイマー運転の併用をおすすめします。

### 3. 切タイマーを設定する

切タイマーを設定するには③タイマーボタンを押して、切タイマー時間を設定します。

- 1H～6Hの範囲で設定できます。
- 設定すると残り時間と周囲の湿度を交互に表示します。
- 切タイマー設定したあと、再び③タイマーボタンを押して、設定時間を変更することができます。
- キャンセルするときは、「0H」に設定するとそのまま運転を続けます。





## 4. 運転を停止する

④電源ボタン押しと、表示部と表示ランプが消灯し、加湿運転を停止します。

加湿運転を停止後、約1分間送風運転を行ない、そのあと完全に停止します。

## 5. 電源プラグをコンセントから抜く

 <b>警告</b>	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜く。待機電力が発生しなくなり、省エネになります。</li><li>運転中に、停電や電源プラグが抜けたときは、始めから操作をやり直す。運転が停止し、すべての設定が解除されます。</li></ul>

### 減光モード

本体の操作をしてから約1分経過すると、自動的に点灯しているランプや表示部が減光します。再度、本体のボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプや表示部の明るさは通常に戻ります。

### 消灯モード

本体の④タイマーボタンを長押しすると、消灯モードが設定され、点灯するランプや表示部を消灯させることができます。再度、本体のボタンを押して操作が入力されるとともに消灯モードが解除され、ランプや表示部が点灯します。

## 《自動運転モード》

設定した湿度に自動で調節して運転します。

### 1. 運転モードボタンを押して、「快適」「おやすみ」「うるおい」を設定する

- 運転モード設定後は、④タイマーボタンを押して切タイマーを設定することができます。
- 各モードの湿度の設定や運転量設定などは設定することができません。

#### 《快適》:

湿度を約50~60%に保つ運転

#### 《おやすみ》:


湿度を約50~60%に保つ運転

- 《快適》モードに比べ、「弱」「中」で運転するため湿度の上昇には時間がかかります。


#### 《うるおい》:

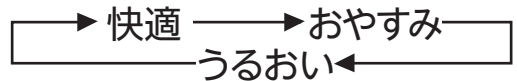
湿度を約55~70%以上に保つ運転

- 《快適》モードに比べ、「急速」で約70%まで運転するため、すぐに高湿度が得られます。

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>現在の湿度が自動運転モードの設定湿度に達すると加湿運転を停止します。</li><li>マニュアル運転モードから自動運転モードに切り替えた場合、現在の湿度が自動運転の設定湿度に達していると加湿運転を停止します。</li></ul>
--	--

### 自動運転モードの設定

 運転モードボタンを押すたびに下のよう切り替わります。



自動運転モード	湿度	加湿量の設定
「快適」	約50~60%	「強」
「おやすみ」	約50~60%	「弱」~「強」
「うるおい」	約55~70%	「強」

### 運転中に給水ランプが赤色に点灯したとき

給水ランプが赤色に点灯したときは、水タンクの水が足りなくなっていることを示しています。

- 水タンク、水槽内の水が少なくなるとブザーが5回鳴り、給水ランプが赤色に点灯して加湿運転を停止します。
- 水槽に残った水を捨てたあと、水タンクを本体に取り付けて新しい水道水を入れてください。
- 水タンクより本体に水が行きわたりますと、給水ランプが消灯します。  
④電源ボタンを押して、運転を開始してください。  
※ 本体に水が入ったまま持ち運んだり、傾けたりすると、水タンクから水がこぼれることがあります。水タンクは使用する場所で本体に取り付けてください。

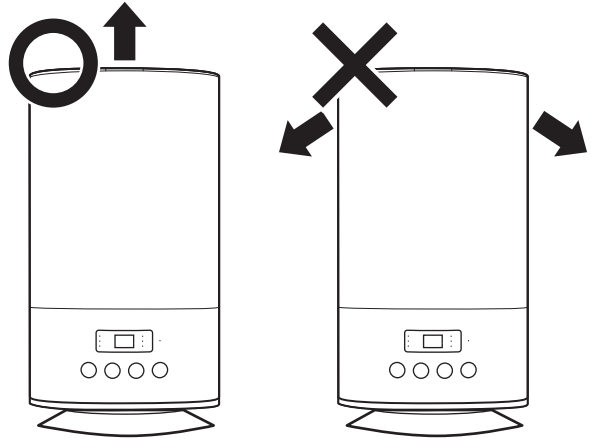
# 正しい使いかた (つづき)

## 倒れにくい構造の取り扱い

### 1. 本体を移動させる場合は、ゆっくり真上に持ち上げる

真上にゆっくり持ち上げると、吸盤内に空気が入り、取りはずしやすくなります。

※ 斜めに持ち上げても、吸盤内に空気が入りにくいため、容易にはずれません。



**注意** はやく持ち上げたり、斜めに持ち上げたりすると異音が出ることがあります。吸盤が空気で振動する音で異常ではありません。

### 2. 吸盤はお湯などでお手入れする

本体底面に付いている吸盤が汚れた場合は、本体をお手入れしたとき(本体が乾燥したとき)にぬるま湯で湿らせたタオルなどでお手入れを行うと、吸着力が復活します。

#### 吸盤の効果が出にくい設置面

表面がザラつく粗い面やフローリングなど凹みのある面では吸着力が得られません。

表面が光沢の塗装面やガラス面などが適しています。

## アロマケースの使いかた

### 1. 本体に取り付けられているアロマケースを引き出す

アロマケースの前面を軽く押し込んで指を離すと、アロマケースが出てきますので、そのまま引き出してください。

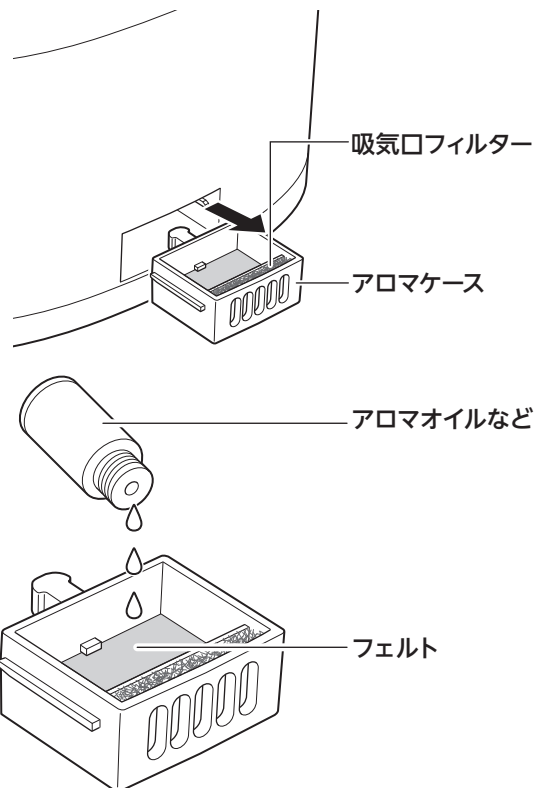
### 2. アロマケースに取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

アロマケースにフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販の『アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイル』(以下、アロマオイルなど)を外側にこぼれないよう注意しながら2~3滴フェルトに染み込ませます。次にアロマケースを本体の奥までしっかりと差し込みます。

### 3. 運転を開始する

7ページの「運転の開始/停止」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ加湿をお楽しみいただけます。

アロマオイルなどを入れない場合は通常の加湿器としてご使用いただけます。



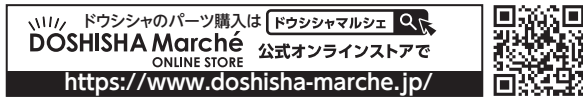
## フェルトの交換

- ※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルなどを使用するときは、フェルトを交換してください。
- ※ フェルトはご購入時にアロマケースに取り付けられているもの以外に付属品として3枚付属しています。
- ※ フェルトは洗って再使用することができません。
- ※ フェルトはアロマケースのツメの下になるように取り付けてください。
- ※ アロマケースは食器用中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってから、取り付けてください。
- ※ 交換用のフェルトは別売しております。

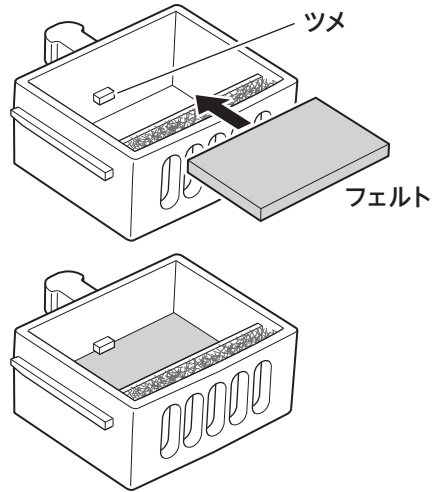
### 交換用フェルト

商品名 フェルト(4枚) 型番 AF-DKW2130

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。



ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室 (⇒裏表紙) へお問い合わせください。



アロマケースの底から浮き・はみだしがないように取り付けてください。出し入れするときに引っ掛かるおそれがあります。

### アロマオイルなどについて

取り扱いについては、アロマオイルなどに付属の取扱説明書をご覧ください。

# お手入れと保存



お手入れをするときは電源プラグをコンセントから抜く。  
火災・故障の原因になります。

## 本体のお手入れ (週に2回以上)

本体に残っている水をきれいに捨ててください。

※水を捨てるときは、必ず排水方向から捨ててください。

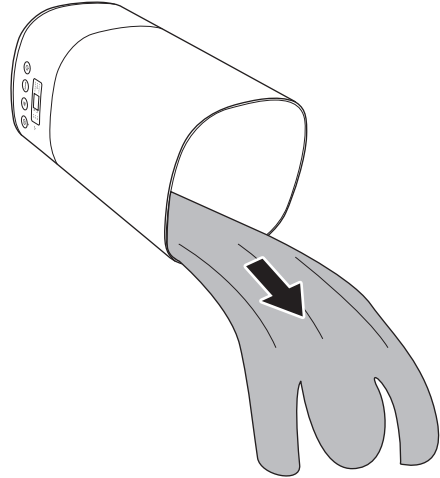
排水方向以外から水を捨てると、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

## 通常のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください(強くこすらないでください。傷つきの原因になります)。

- 本体底面の吸気口・アロマケース・吸気口フィルターのホコリを掃除機などで清掃してください。
- 水を捨て、水滴をふきとり、よく乾燥させてください。
- お手入れの際、水位センサーのキャップを取りはずしたときは、お手入れをしたあと、必ずキャップを軸に最後まで差し込んでください。キャップが浮いていると、水位センサーが誤作動し、給水ランプが点灯し、動作しなくなります。

※お手入れをするとき、オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用中性洗剤を使用しないでください。プラスチックを変色・変質させる原因になります。

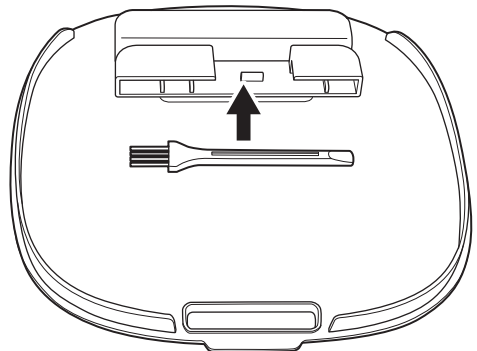


- 水タンクを取り出したあと、本体内部の金属部に触れない。  
けが・故障の原因になります。
- 必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、水槽の水を捨ててからお手入れを行なう。  
感電・やけど・けがの原因になります。
- 清掃後は、必ず各部品を元通りに取り付ける。  
やけど・けが・故障の原因になります。



- 水槽の水を捨てるときは、排水方向矢印の方向から捨てる。  
他の方向から水を捨てると、送風口や操作部に水が入るなど、故障の原因になります。
- 使用後、水タンクを取りはずすときはミスト筒内の水が垂れるので、タオルなどを用意する。

掃除用ブラシはカバーの裏側に取り付けて保存し、次回お手入れ時に使用してください。



掃除用ブラシの保存場所

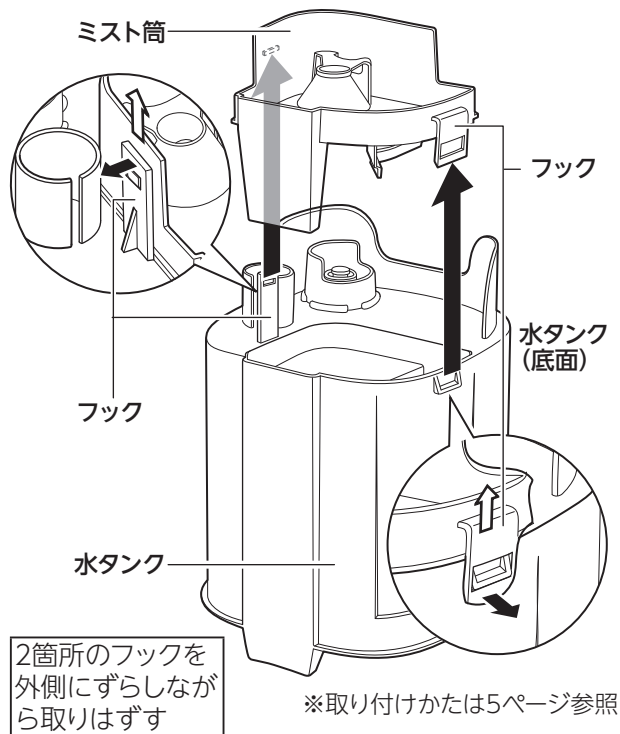
## 水タンクのお手入れ (週に2回以上)

水タンクの内側と外側をきれいに洗ってください。  
本体以外、すべて丸洗いができます。を参考にミスト筒  
などを取りはずしてください。

洗って十分にすすぎ、乾燥させたあと、元通りに組み  
立ててください。

※カバーの裏側に掃除用ブラシが取り付けられてい  
ます。

水フィルターのメッシュ網に汚れがたまるため十分に水  
洗いをしてください。



分解したときは、必ず元通りに組み立てて  
から使用する。  
故障の原因になります。

## 保存のしかた

「本体のお手入れ」「水タンクのお手入れ」に従ってお  
手入れ・清掃したあと、本体内部の水分をよくふき取  
り、陰干して十分に乾燥させてください。ポリ袋な  
どに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に  
入れ、湿気の少ないところに保存してください。



- ベンジン・シンナーでは拭かない。  
変色・変形の原因になります。
- オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。  
変色・変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。  
変色・キズの原因になります。
- 水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。  
お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。その場合は、医師に相談してください。
- 水道水以外は使わない。  
一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ず、きれいな水道水をご使用ください。
- ジュースなどの飲料水、温水 (40℃以上)、化学薬品、芳香剤 (アロマオイルなど)、洗剤を入れた水などは絶対に使用しない。  
水タンクや本体が故障する原因になります。

# 修理・サービスを依頼する前に

## ⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込む
	水タンクが本体に確実に取り付けられていない	水タンクを確実に取り付ける
加湿しない、または加湿量が少ない	給水ランプが赤色に点灯している	水タンクに水がない場合は給水する
	超音波振動板(セラミックディスク)が交換時期になっている ※超音波振動板(セラミックディスク)の耐久時間は約3000時間です。	耐久時間を超えるとミストの発生量が少なくなったり、発生しなくなります。超音波振動板(セラミックディスク)の交換が必要です。ドウシヤお客様相談室へご相談ください(交換は有償となります)
	自動運転モードで設定した湿度に達している	湿度が下がると運転を開始します。または通常モードで使用してください
	水フィルターが汚れている	水フィルターをお手入れする
給水しても給水ランプが赤く点灯する	水タンクが本体に確実に取り付けられていない	水タンクを確実に取り付ける
	水フィルターが汚れている	水フィルターをお手入れする
においがでる	水道水以外を使用している	水タンク、水槽に残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
	水タンクに水を入れてから長時間経過している	水タンクに残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
操作部ランプ・表示部が暗い	最後に操作してから約1分が経過し、減光モードになっている	◎電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モード・消灯モードが解除され、元の明るさに戻る
操作部ランプ・表示部が点灯していない	消灯モードになっている	
表示部にエラー表示E3が出てブザーが鳴り続ける	E3:ファンモーターの回転数が低下している(送風口から水が入った恐れがあります)	電源コードをコンセントから抜き、本体水槽および水タンクの水を捨てる 本体内に水が入った恐れがあるので、本体を振って内部の水を排出し、本体を十分に乾かした後動作させる 再びE3エラー表示が出る場合はドウシヤお客様相談室にご相談ください
水タンクにヒビがある	水タンクにアロマオイルなどを入れている	水タンクにアロマオイルなどを入れると水タンクにヒビが発生します。水タンクを交換してください(交換は有償となります)
本体を持ち上げるときに音がする	吸盤が空気で振動するときの音がしている	問題ありません 本体を持ち上げるとき、真上にゆっくりと持ち上げることで、音は小さくなります

症状	主な原因	処置
吸盤の吸着力が弱い	粗いザラザラした面に設置している	表面が光沢の塗装面やガラス面などに設置する
	吸盤にホコリが付着している	吸盤をぬるま湯で湿らせたタオルなどでお手入れをする

## 長年ご使用の場合はよく点検を

### このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

製品についての  
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎ 0120-104-481

【受付時間】 9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché 公式オンラインストアで  
ONLINE STORE

<https://www.doshisha-marche.jp/>

